

# 菊陽人りさーち



いとう  
**伊藤 あえさん**  
(13歳・ひばりヶ丘)

- 好きな教科 体育
- 好きなこと バレーボール
- 自分を一言で表すと  
テンションが高い
- 今後の目標 バレーの大会で入賞
- 今一番やりたいこと  
東京ドームに行って野球観戦

【菊陽のおすすめスポット】  
菊陽中学校

いそざき ひかり  
**磯崎 光さん**  
(13歳・大堀木)

- 趣味 読書
- 自分を一言で表すと マイペース
- 今後の目標 中体連で優勝する
- 今一番やりたいこと  
東京で買い物をしたい
- 家族に伝えたいこと  
これからもよろしくお願いします

【菊陽のおすすめスポット】  
光の森



菊陽人りさーちの掲載を希望する人は氏名、年齢、住所、連絡先(昼間)をお知らせください。掲載対象は、小学生以上で菊陽町に住んでいる人です。掲載が決まりましたら、ご連絡します。

■申し込み・問い合わせ  
〒869-1192 (住所不要)  
菊陽町役場総合政策課 ☎(232) 2112  
sogoseisaku@town.kikuyo.lg.jp



# ゆたかな心をはぐくむ 人権のひろば 90

人権教育・啓発課 ☎(232) 2113

人権啓発標語 「知りたいと 思う気持ちが 最初の一步」

菊陽中学校 2年 福田 奈々美(現在3年生)

## 「水俣に学んだこと」

菊陽西小学校 5年 岩見 舞花(現在6年生)



大事な友達



語り部の講話を聞く子どもたち



環境問題を考える子どもたち

わたしは、水俣学習を通して心に残ったことが二つあります。一つ目は、患者さんたちは、今も病気と闘い、一生けん命生きているということです。患者さんたちは、体の痛みが激しく、「一つでも薬を減らしてほしい。だれか助けて・・・」と毎日のように思っているそうです。でも、「明るく生きていきたい。一生けん命生きたい」と強く思い、病気とたたかっているのです。ごいなかと思いました。

わたしの友だちのおばあちゃんは、水俣病患者さんだそうです。わたしは、その友だちに「大変だね」と言いましたが、その友だちは「うん」とは言いませんでした。友だちは、「わたしは大変だとは思っていない。おばあちゃんだって薬は多いし『はりはものすごくいたい』って言っていたけど、一生けん命生きているからそれが楽しいと思う」と話してくれました。わたしは、「一生けん命生きる」ということは、水俣病じゃなくても同じことが言えると思います。

二つ目は、差別やいじめをしないことです。語り部の南アユ子さんは、お話の最後に、「いじめだけは絶

対にしないでください」とおっしゃいました。いじめは今も昔も人を苦しめていると思います。傷つくのはいじめられる人です。だけど、言う人、その周りの人も傷つくと思います。言う人は言って後かいたことがあると思うし、周りの人も、「その時注意しておけばよかった」と思うことがあると思うからです。アユ子さんは、そういう意味をこめて言われたのだと思いました。

いじめは、人の見方で、上か下かを見て、はじまることが多いと思います。やる人、やられる人、周りの人、いろいろな立場があります。立場を考えて行動していきたいと思いました。私も、差別やいじめは、絶対しないようにしていきたいです。

(先生から)水俣現地学習では、学んだことを、自分の経験や身の回りの差別と結びつけて考えることができましたね。舞花さんの素敵な「感性」や「気付き」を、これからも大切にしていきたいです。

## 「公式確認から60年」水俣病をめぐる人権に関する教育

— 「水俣に学ぶ肥後っ子教室」 —

昭和31年(1956年)5月1日、2歳11カ月、5歳11カ月の2人のあどけない姉妹の発病を契機に水俣病が公式に確認されて、ことしで60年になります。

県教育委員会は、「水俣に学ぶ肥後っ子教室」を実施しています。これは県内の公立小学校5年

生を対象に、水俣病資料館や水俣病情報センターでの調べ学習や語り部の講話を聴くなどの体験学習を通して、水俣病への正しい理解と差別や偏見を許さない心情や態度を育むものです。菊陽町の児童とともに、人権と差別の課題として水俣病のことを正しく理解し、考え合っていきませんか。

## 菊陽句会報

## きくよう文芸

## 短歌会

手花火や明日は帰京の児を照らす 夕端居セピア色した風まどふ 大文字消えて五山の雨激し 終戦日テレビに一人黙禱す 出店探索甚平姿でよらよらと 田を植ゑることもかなわず地震の夏 胸濡らしはしやぎし子らのひやけ顔 老鷲の住処うばひて森崩る 野菊道馬車に揺られて見し夕日	財津 早雪 原野レイ子 カ 幸子 寺尾千代子 高橋 孝子 堀川 妙子 福田 貴子 佐藤 澄世 井上久美子	街路樹も黙し絶えぬこの猛暑 屋根の上木の実と紛ふ砂袋 庭に陸稲雨水タンクで生き生きと 萩の原ローカル線の発車ベル ひよひよいと屋根師のこなし天高し 清流の木々の中より蟬時雨 胸のすく一本勝ちや汗眩し ぜいたくに涼いっぱいの山と川 牧守の言葉とぎれて昼の虫	宮川ユキエ 曾我 育代 曾我トモ子 紫藤 祥子 村上 朋子 木村 信子 吉田 幸子 米山るみ子 山本 栄子
---	--	---	---

夜の明けと共にオクラを収穫す下着はすぐに汗に濡れゆく  
蟬しぐれを逃れて来しが吹く風に心やすらぎ瀬の音をきく  
今日も又暑さは野良着にまつわりぬ空の青さに湧く雲の峰  
雨あとの朝の黒土あたらしく大豆畑のみどり冴えたり  
降るたびに伸びゆく庭の雑草は青々として心安らぐ  
隣家の郵便物はあふれみて東に低く雷鳴近づく  
おにぎりのセンター配給は日に二回被災の友らを励まし配る  
わが膝に座る幼よ静かなり絵本を声に読むひと時の

梅田 國雄 河北 幸一 佐藤せい子 中村トシエ 古荘喜佐子 山川 カツ 山口 静子 松本 東亜
--